

NGO活動を通して見えて来たもの マリ共和国の場合

CARA代表 村上一枝



©2018 murakami

2018年10月21日（日）午後2時半（開場2時）～4時
熊本市現代美術館（びぶれす熊本会館となり）アートロフト



©2018 murakami

マリってどこ？



参加費（資料代） 300yen マリ関連品お土産つき

主催・連絡先：サヘルを知る会くまもと sahel@fieldnote.com 09049672358

*会場のアートロフトへは3階の美術館エントランスからしか上がりません

予約は不要ですが席数に限りがあります。連絡いただければお席を確保します。

豊かな日本に住む私たちは、どれくらい発展途上国の現状を知っているでしょうか？サハラ沙漠の南に位置するサヘル地域については日本では現状もその文化も知られていません。日本のNGO団体CARA代表の村上一枝氏は、歯科医から転身し、最貧国といわれる西アフリカ マリ共和国の農村部の人たちの自立を支援してきました。貧困、疫病、沙漠化によって苦しんでいる人たちが必要としている支援とは何でしょうか。

まずは「知る」ことから始めてみませんか。

今回の村上氏の講演から私たちに出来ることを一緒に考えてみませんか。

*マリの音楽や文化のお話しや、ご質問にお答えする時間も準備しています。



後援 熊本県ユニセフ協会

©2018 murakami